

指定校番号	30004	学級活動	<input type="radio"/> 児童会活動	クラブ活動	学校行事
-------	-------	------	-----------------------------	-------	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	東広島市立寺西小学校	校長	福場 克史	生徒指導主事	植野 勝也
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『スマイルボックス』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	1	「協調性」	3	「自己理解・自己指導能力」	2

取組のねらい『キーワード 自己理解・自己指導能力』

児童会が中心となり、「いじめゼロ」に向けた取組を主体的に行うことを通して、いじめを許さない意識を高める。また、うれしかった言葉や行為を朝会や放送で紹介したり、児童に届けたりすることを通して、自己理解を深め、自己指導能力を高める。

取組の具体的内容

日常生活の中で、友達にしてもらってうれしかった言葉や行為を紙に書き、「スマイルボックス」に入れる。それを児童会執行部が回収し、一部を放送で紹介する。また、紹介された手紙は校内に掲示し、その言葉や行動を広める。



スマイルボックス

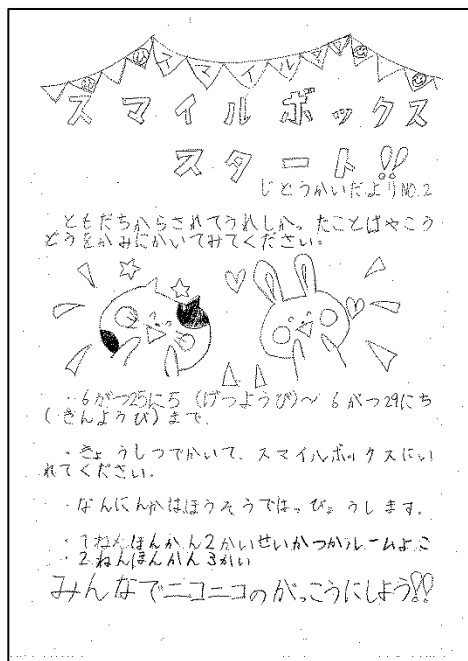


校内掲示

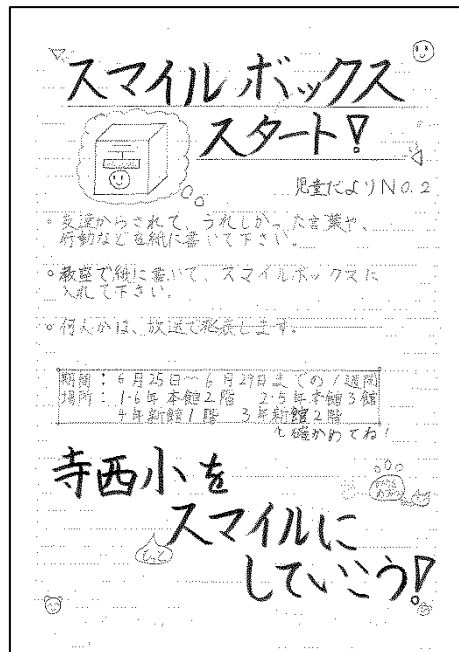
取組の課題・創意工夫『キーワード イメージの共有』

取組を始める前に、児童会が「児童会だより」を作成・配付し、全校放送で周知する。職員内では、紙に書く内容のイメージを共有する。また、いたづらを書いて入れないように、取組の目的を確認し、学級指導を行ってから開始する。

また、放送で紹介する内容については、昨年度の取組では友達に対するお手紙のようなものが多く投函されたという反省から、ねらいにあった内容を紹介するよう、児童会にアドバイスしたり、教職員が必ず目を通すようにした。



低学年用 児童会だより



高学年用 児童会だより

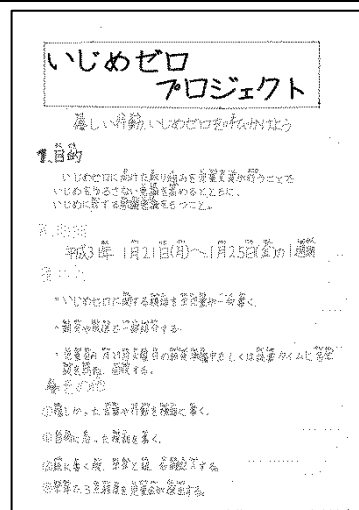
取組の成果（効果）『キーワード 学校があたたかい雰囲気』

給食時の放送で紹介するとき、学校全体が静かになり、自分の書いたことが読まれるかなというワクワク感でいっぱいになり、紹介されると笑顔があふれ、あたたかい雰囲気に包まれる。紹介された児童の自己有用感が高まり、聞いているまわりの児童は、よい行いとほどのようなことかを学び、それを実践しようという意欲が高まった。

今後の展開『キーワード 全員が参加』

スマイルボックスの取組を毎年続けてきたが、全校児童が活動に参加しているとは言い難いという反省があった。

今年度の後期は、「いじめゼロプロジェクト」の第2弾として、いじめゼロに関する標語を全児童が一句書くという活動に取組んでいる。現在は、標語の作成が終わり、児童会が回収しているという段階である。今後、各クラスで選ばれた標語を放送で紹介したり、児童会が選出して表彰をしたりという活動をしていく予定である。



他教科との関わり『キーワード 良さを見つける、みとめる 個性の伸長』

特別の教科「道徳」で内容項目「A- (4) 個性の伸長」の授業の際、この取組で届いた紙の内容が、自分の長所について考える際の参考になったり、友達のよさを見つける活動が抵抗なく行えるようになったりしている。